

# ふしょうっこ日記

令和7年6月27日

## 「田植え」

5年生が植えた米の苗が大きくなりました。そこで、学校で作った田んぼに田植えをしました。まず、昨日までに、苗を植えるためのペットボトルを準備しました。今日は、そのペットボトルに、肥料を混ぜた土を入れるところから始まりました。どちらも見た目は、丸い小さな粒でした。土をいっぱい入れたペットボトルを大きなプランター（学校で作った田んぼ）に並べます。並べたら、みんなでプランターを移動しました。田んぼを作る（置く）ところで、水を入れました。土作りです。水を入れると、丸い粒が液状になり、どろっとしてきます。「気持ちいい」と感じる人もいれば、ぬるっとして「気持ち悪い」と感じる人もいたようです。土の準備ができると、いよいよ田植えです。「ゆうだい21」「ヒノヒカリ」という2種類の苗を植えました。



この学習は、「地球温暖化の適応策に対する意識の向上」と「気候変動に対する具体的な対策（緩和策と適応策）が考えられる児童の育成」を目標としています。実は、種から苗を育てる途中で、枯れてしまった苗がありました。急に暑くなったのか、水が足りなかったのか…原因はいろいろ考えられます。これから米を収穫するまでも様々なことが起こるでしょう。様々な変化から、学びを深めてほしいです。

